

# 第33回小学生インドアホッケー大会運営規定

1. 本大会の運営は、本規定によって行う。
2. 競技規則は、2023年度日本ホッケー協会6人制競技規則に準ずる鳥取県ホッケー協会インドアホッケー競技規則による。

※試合時間は、7分間とする。(時計は本部で管理し、いかなる理由があろうと時間は止まらない)

※会場の都合により、スweep、リバースヒットを禁止する。

＜キッズの部においては、スweepヒットのみOKとする。ただし、シュートはブツシュのみとする！！＞

※交代は、自陣のサイドラインで行うこと。

- ・ボールがサイドライン、バックラインを越えた場合は6人制ルールと同様に再開される。
- ・セルフパスを行なうプレイヤー以外は、ボールから4m以上離れボールが少なくとも4m以上動かされるか、他のプレイヤーに触れるまではボールをサークルに入ることにはできない。(6人制ルールと同様)
- ・シュート以外で故意にボールを上げることは禁止(スクープの禁止)とする。
- ・ホッケーのルールに準じて反則をとる。＜審判は、危険な行為を未然に防ぐように細心の注意をはらうこと＞
- ・明らかに反則がなければゴールが決まっていたと審判が判断した場合は、「PS(1対1)」を実施する。

◆サークル内の反則については、「PC」を与える。

- ・守備側のプレイヤー2名は、「PC」を実施するエリアとは反対側のサークルトップのラインまで戻らなければならない。  
また、守備側のプレイヤー3名は攻撃側がプレーを開始するまでゴール横(エンドライン上)で待機しなければならない。
- ・攻撃側のプレイヤーはエンドラインとサークルが交差する位置から攻撃を開始し、サークル外にいる味方のプレイヤーにパスをだす。
- ・攻撃側がプレーを開始したら、守備側のプレイヤーは動き始めることができ、反対側エリア内に待機していたプレイヤーもプレーに参加できる。(6人制ルールと同様) ※両チーム、フライングしたプレイヤーは反対側エリアまで戻る。

## 3. 試合方法

- ・小学生の部は総当たり、キッズの部は同チームと2試合ずつ行う。
- ・試合開始時間に集合しないチームは不戦敗とし、相手チームを不戦勝とする。この時のスコアは、0-5とする。

### ＜順位の決定方法＞

- ① 勝ち点(勝3点、引き分け1点、敗0点)の合計の多いチームを上位とする。
- ② 勝ち点と同点の場合、得失点差の多いチームを上位とする。
- ③ 得失点と同点の場合、総得点の多いチームを上位とする。
- ④ 上記すべて同じ場合はSO戦とする。 ※SO戦は、時間短縮のため代表者1名ずつでサドンデス方式。  
センターライン上にボールを置いて、シュートアウトを行うプレイヤーと守備をするプレイヤーにより、1対1の攻防を行い8秒以内にボールがゴールラインを完全に通過した時に得点が認められる。

## 4. その他

- (1) 競技中の乱暴な行為、スポーツマンにふさわしくない行為については、危険防止のために厳重に対処する。
- (2) 万一、負傷・病気等の事故があった場合は、各チームの責任において行うこと。